東成瀬 図書館だより

2023.3 月号　No.92　発行　東成瀬公民館図書室

〒019-0801
秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1
TEL　0182-38-8711　　FAX　0182-38-8712
E-mail　narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

☆令和 5 年 4 月の特集&新着案内

〈一般書〉

◎「出会いの春に～人・仕事・etc～」

花屋さんが言うことには	山本　幸久
雨夜の星たち	寺地　はるな
奇跡	林　真理子
お金が貯まる人は、なぜ部屋がきれいなのか	黒田　尚子
新しい文章力の教室	唐木　元
栞と嘘の季節	米澤　穂信
おしゃべりな人見知り	山本　ゆり
縁もゆかりもあったのだ	こだま
電子レンジでシニアごはん	村上　祥子
この世の喜びよ （芥川賞受賞作）	井戸川　射子
しろがねの葉 （直木賞受賞作）	千早　茜

〈児童書〉

◎「本はともだち～図書館・本のおはなし～」

図書館のふしぎな時間	たしろ　ちさと
ほんやねこ	石川えりこ
ほんのにわ	みやざき　ひろかず
ほん　book	デイビッド・マイルズ
あまやどりのホットケーキ	尾崎　潤
もじもじこぶくん	小野寺　悦子
心ってどこにあるのでしょう？	こんの　ひとみ
ドキドキ！おばけのきゅうがくしき	大木　あきこ
めくって楽しむ世界地図	ケイト・ベイカー
オニのサラリーマン　じごく・ごくらく運動会	富安　陽子

◊今月のオススメの一冊◊

『 保護犬、保護猫と暮らす。 』

坂上　忍／ 著



保護犬、保護猫と出会ったすべての人に読んでほしい…動物保護活動を善意からビジネスへ―保護ハウス「さかがみ家」の挑戦。
一生を有意義に、そして動物とともに快適に過ごすための秘訣を集めた一冊。

『 きょうりゅうバスでとしょかんへ 』

リウ・スーユエン ／ 著



やさしくて、最高に素敵！
きょうりゅうバスの「移動図書館」!?
図書館を舞台に繰り広げられる子どもたちと、ちびっこきょうりゅうの心あたたまるファンタジー。

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

☆図書室利用案内☆

4 月の休館日

2 日（日）　16 日（日）
29 日（祝）　30 日（日）

開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分
休館日	・第 1、3、5 日曜日　・祝祭日 ・年末年始
図書の貸出	10 冊まで
視聴覚資料	3 点まで（DVD・CD など）
貸出期間	3 週間



★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★

おしらせ

絵本 de リレー集　完成!!

この度、一昨年まで全 100 回にわたり図書館だよりで連載していた、皆さんからのお薦めの絵本を紹介するコーナー〝絵本 de リレー〟を冊子にまとめた『絵本 de リレー集』が完成しました。
図書館の他、ゆるるん、まるごと自然館にも展示していますので、ご自由にご覧ください。





なるせ芸術文化祭のご案内



読みかたりグループ「つくしんぼ」が『なるせ芸術文化祭』に出演します。
★日時　3 月 26 日(日)　9:30～
★場所　地域交流センターゆるるん
★演目　『モチモチの木』
是非、お越しください。

―第 23 回―

わたしのとっておきの一冊

地域おこし協力隊・なるテック



永山　和宏さん　からの　オススメ

『新しい文章力の教室』

唐木　元　／　著
インプレス

エンタメサイト『ナタリー』の編集長が書いた「書きたいことがあるけれど、どう書いたらいいか分からない」という方におすすめの一冊。

化粧でいうマスカラやアイシャドーだけでなく、ベースメイクやスキンケアから教えてくれるため、ライター駆け出しの私にとってもピッタリの本でした。

「いい文章とは完読される文章である」と掲げるくらい、人は文章を飛ばして読んでしまう傾向にあります。そのため、本書は「完読される文章」を書くためのあれこれがわかりやすく書かれています。あくまでも商業用の文章の書き方なので「面白い文章・魅力的な文章を書けるようになりたい」と思う方には向いていないので注意が必要です。しかし伝わりやすい文章が書けることは、今後役立つこと間違いなし！みなさんもぜひ、文章の壁に当たった時は読んでみてください。完読される文章を書けるように私も目指します。

地域おこし協力隊の皆さんからのオススメを連載しています。
お楽しみに！



読みかたりグループ
『つくしんぼ』コーナー

おはなし会は
4 月 15 日(土)
10:30～11:00
です

会員のつぶやき

会員　岡　　光　さん





県南の二人の小学校の先生と大曲の文化財保護審査委員の方により収録された県内のわらべ唄集「おめだ　あしばねが」が、1978 年に発行されている。

春、雪解けを待っていた子どもたちは“ばっけ　ばっけ　ふきのとう～”と歌いながら、鞠つきをしていた。夏、栗の花が咲き始める頃、“ほ、ほ、ほたるこい　あっちの水はにがいぞ　こっちの水はあまいぞ～”うちわを持った子どもたちがホタルを追います。秋、真っ赤なほおずきの種などを上手に取り出し、口に含んできゅっきゅと鳴らします。“ほずき　ほずき　ばばぁたねしょってこい　じじぁわたしょってこい～”。冬、黄色くなったイチョウの葉が一晩の間に散ってしまうと、“あられコ　こんこん　豆　こんこん～”真っ赤な手で雪玉を作ったりして喜ぶ子どもたちがいました。方言でその歌の背景を語りながら、親たちは子育てをしていたのでしょう。

50 曲収められていますが、その唄を DVD に残そうという動きもあります。興味のある方は図書館までご連絡ください。